

令和6年度中国地区DMAT連絡協議会実動訓練の実施について

1 要旨・目的

広島県内で大規模災害が発生した場合に、迅速かつ効果的な広域災害医療体制が確保できるよう、中国地方5県の災害派遣医療チーム（以下「DMAT」という。）及び関係機関が合同訓練を実施し、緊密な連携強化を図ることを目的とする。

2 現状・背景

平成30年7月豪雨災害や令和6年能登半島地震等の大規模災害時の医療体制においては、関係機関や医療チームとの情報共有不足や保健・医療・福祉の相互連携不足、ライフラインの被災に伴う医療提供体制の低下、道路寸断や通信遮断による集落の孤立等、様々な課題が生じている。これらの課題を踏まえ、本訓練において、関係機関と合同で災害時の対応の確認及び検証を行う。

なお、本訓練は中国5県で年1回、持ち回りで実施（本県では11年ぶり2回目）されており、本年度の担当は広島県。

3 概要

(1) 実施主体

中国地区DMAT連絡協議会（中国地方5県のDMAT隊員及び県担当職員で構成）

(2) 実施日

令和6年11月29日（金）～令和6年12月1日（日）

(3) 訓練想定

安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震（県内の最大震度6強）が発生。
（主に、広島市、呉市、江田島市の医療救護活動を行う。）

(4) 主な訓練内容

訓練項目	場所等
保健医療福祉調整本部設置・運営訓練	広島県庁
DMAT活動拠点本部運営設置・運営訓練	広島大学病院・呉医療センター
病院へのライフライン支援訓練	広島市立広島市民病院 中国労災病院・済生会呉病院
局所災害対応訓練（多数傷病者救護訓練）	西風新都消防訓練場
孤立島しょ部支援訓練	広島港宇品外貿埠頭岸壁第5バース 災害医療支援船

(5) 参加機関

厚生労働省DMAT事務局、広島県内病院、広島県医師会、日本赤十字社広島県支部、中国地方各県DMAT、広島DPAT、中国地方各県DPAT、DHEAT事務局、DWAT事務局、広島県薬剤師会、広島県医薬品卸協同組合、日本産業・医療ガス協会中国地域本部、その他医療関係団体、中国電力（株）、中国電力ネットワーク（株）、広島県石油商業組合、KDDI（株）、日本船舶薬品（株）、スカパーJSAT（株）、（株）TD衛星通信システム、中日本航空（株）、広島市、呉市、江田島市、呉市上下水道局、広島市消防局、呉市消防局、江田島市消防本部、広島県等